学校番号	1202

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「tutti２」　（教育出版）						
副教材等	「白鍵＆右手だけでひけるベストソング」（Ｋｍｐ）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「鑑賞」「創作」の４つの分野を年間通して学習します。
・様々な音楽表現を通して感性を高め、音楽文化の多様性を尊重する態度の形成を目指します。
・学習活動では個人活動以外に、合唱や少人数グループで合奏や創作課題に取り組みます。
・学習の到達度は、授業態度、ワークシート、実技テストおよび提出作品で評価します。

２　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとのかかわり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。
・自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。
・主体的に・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①音楽を形作っている要素の働きについて実感を伴った理解による「知識」の習得、②音楽の多様性の理解創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能（演奏・創作・言語化）を身につけ、表すことができる。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。それをどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。 ②粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整・試行錯誤・テスト＆チェックすることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	【斉唱】 瑠璃色の地球 【他者との調和を意識して歌う技能－3，5度のハモリ】優しいあの子等	a: 楽譜に書かれた表現をもとに、曲種や表現形態に応じた発声を身につけている b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している c：主体的、協働的に歌唱練習・パート練習に取り組んでいる	観察 楽典テスト	実技テスト	観察 練習態度
	器楽	【キーボード】 片手、両手での練習 【他者との調和を意識して演奏する技能　合奏】 副読本より各曲	a:正しい演奏姿勢を身につける。CGF のコードネームを身につける。 b:基礎的なコード伴奏から、曲種に応じた奏法を自分なりに工夫し演奏披露することができる c:曲練習に自主的に取り組もうとしている。アンサンブルでは仲間に声を掛け合いながら教えあおうとしている。	・楽典テスト ・実技テスト（読譜）	・実技テスト(演奏の工夫、テクニック、アンサンブルの技巧)	・観察 ・アンサンブル練習
	鑑賞	【教科書より歌唱教材中心に鑑賞】音楽を形作る要素や楽器の音色の特徴を聴き取る訓練をします。 【音楽と発明】 録音機材の進化、電子楽器の発明「ボヘミアンラプソディー」「A列車でいこう」「海の幽霊」など	a:　音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号を音楽における働きと関わらせて理解している。 b:思考・判断・表現）音楽の構成要素を知覚し、表現の特徴や良さをまとめ、感受した内容をレビューとして書くことができる。 c:鑑賞記録の用紙に沿って項目が正しく書き写されている。レビューの内容が一言だけではなく、行の８０％は埋めているか。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 鑑賞態度
2学期	歌唱	【歌詞理解、曲想に応じた発声で歌唱表現する】 日本のポップス 【他者との調和を意識して歌う:3部合唱】 何度でも、COSMOS 等	a: 楽譜に書かれた表現をもとに、曲種や表現形態に応じた発声を身につけている b:歌詞表現から曲想を感じとり、自己のイメージや意図をもって表現を創意工夫している c：主体的、協働的に歌唱練習・パート練習に取り組んでいる	観察 楽典テスト	実技テスト	観察 練習態度

	器楽	【箏】 基本奏法 「さくら」(初級～上級) 「花筏」一部分 【合奏】 各楽器の基本奏法 合奏練習～ 【楽典】 縦譜の読み方	a:楽器の組み立て、縦譜の読み方、基本姿勢から特殊奏法までを身につけている b: 楽譜に書かれた奏法をもとに個性や意図をもって表現を創意工夫している C: 楽器の準備を含めて協働的に器楽練習や合奏に取り組んでいる。自ら進んで特殊奏法の練習・習得に勤しめる	・ワークシート ・実技テスト基本奏法	・観察 ・実技テスト演奏の創意工夫	・観察 ・演奏作品特殊奏法への取り組み ・振り返りシート
	鑑賞	【いまに生きる日本伝統音楽】(箏、津軽三味線、吟詠) 古典・現代邦楽曲、超歌舞伎など 【Jポップ史】 1980年代～2000年代	a: 各楽器の文化・歴史的背景、素材や音のなる仕組みと音色の特徴を理解している。 a:年代毎の出来事や流行、視聴する媒体や技術の進化と楽曲の特徴を知る。 b:鑑賞内容に沿った内容で、自分の意見を交えて回答している。 c:鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など正しく書き写されている。レビューの内容が一言だけではなく、行の８０%は埋めているか。	・楽典テスト ・ワークシート	・楽典テスト ・ワークシート	・観察 ・ワーク提出 ・ワークシート
3学期	器楽	【弾き語り】 キーボードまたはギターより選択。 ・共通課題『Stand by me』 ・自由曲　副読本より任意の楽曲 【楽典】 コードネーム、リズム変奏	a:共通課題ではEmDmを理解する。自由曲では楽譜に書かれたコードを調べ演奏する。 b:基礎的なコード伴奏から、曲種に応じた奏法を自分なりに工夫し演奏披露することができる c:曲練習に自主的に取り組もうとしている。	・楽典テスト ・実技テスト(読譜)	・実技テスト(演奏の創意工夫)	・観察 ・実技テスト(演奏範囲)
	鑑賞	【Jポップ史】 2005年代～2020年代 未来のJポップ予想	a: 年代毎の出来事や流行、視聴する媒体や技術の進化と楽曲の特徴を知る。 b:鑑賞内容に沿った内容で、自分の意見を交えて回答している。 c:鑑賞記録の用紙に沿って曲名や作詞者など正しく書き写されている。レビューの内容が一言だけではなく、行の８０%は埋めているか。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 鑑賞態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度